

各 位

積水化学工業株式会社

積水化学グループにおける「環境配慮設計指針の策定」について

積水化学工業株式会社（代表取締役社長：加藤 敬太、以下「積水化学」）は、ESG 経営のマテリアリティのひとつに位置づける「環境」において、重要な課題として設定する「気候変動」「資源循環」「水リスク」への対応をさらに加速させるため、環境配慮設計指針を策定しました。本指針は、積水化学グループの競争力の源泉として環境価値を高めていくことを目的としています。

積水化学グループの「サステナビリティ貢献製品」制度において、本指針に沿った製品設計を推進することで、製品ライフサイクルおよびサプライチェーン全体における温室効果ガス（GHG）削減やサーキュラー・エコノミー社会実現に貢献する製品・サービスの提供を進めていきます。これにより、自然環境および社会課題の解決にこれまで以上に貢献し、SEKISUI 環境サステナビリティビジョン 2050 で目指す「生物多様性が保全された地球」の実現を目指します。

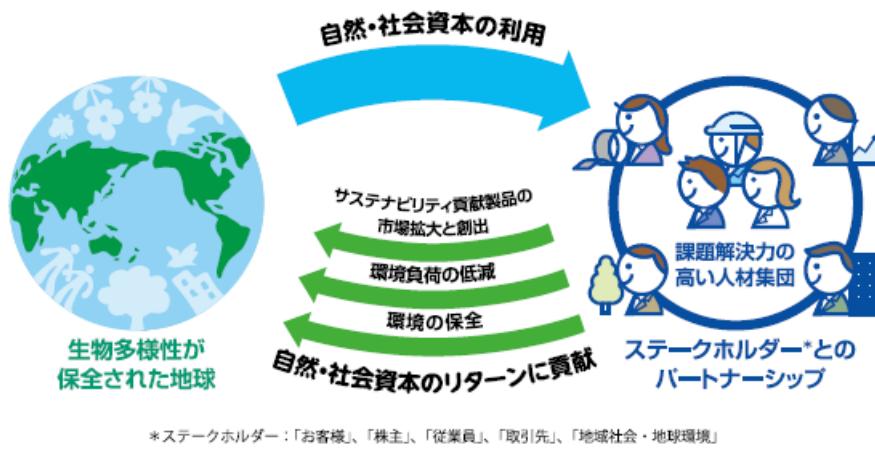


図1 「SEKISUI 環境サステナブルビジョン 2050」

■ 環境配慮設計指針

積水化学グループのサステナビリティ貢献製品は、カーボンニュートラルおよびサーキュラー・エコノミー解決に重点を置き、①製品ライフサイクルにおけるエネルギーと資源の削減、②使用するエネルギーと原料を再生可能なものや低炭素なものへ転換しながら、③カーボンフットプリント（CFP）を認識し、2050年には低炭素かつ循環可能な製品100%（包装資材含む）を目指します。

■ 重点配慮項目

以下4点が環境配慮設計指針にもとづき、製品ライフサイクルおよびサプライチェーン全体において配慮する重点項目となります。

1. 製品ライフサイクルにおけるエネルギーと資源使用量の削減

製品ライフサイクルにおいて資源・生産・輸送等の効率向上に努め、エネルギーと資源の使用量の削減を推進します。

2. エネルギーや原料を再生可能もしくは低炭素なものへ転換

エネルギーの非化石由来燃料への転換を進めるとともに、製品原材料として非化石材（バイオ由来材、CO₂由来材など）や再生材の活用を推進します。また、低炭素原料（グリーンスチールなど）の活用も推進します。製品に使う包装材についても、非化石材や再生材使用品への転換を推進します。

3. 循環可能な製品設計の推進

使用済製品の回収、解体/分解のし易さなど、再資源化の視点を持った製品設計を推進します。また水平リサイクルを行う自社製品を増やします。

4. 製品 CFP 可視化およびその低減の推進

調達・生産・輸送・販売・施行/組立て・使用・廃棄にいたる製品ライフサイクルのすべての段階における GHG 排出量（CFP）の可視化を進めます。そのうえで製品 CFP 削減に繋がる設計を推進します。

<本件についてのお問い合わせ先>

<報道関係の皆様>

コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 担当：谷村

E-mail : kouhou@sekisui.com

<報道関係以外のお客様>

ESG 経営推進部

E-mail : communication_esg@sekisui.com